



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社博報堂D Yホールディングス
コード番号 2433 URL <http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 裕一
問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 八木 聡 (TEL) 03 (6441) 9033
四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	505,350	2.2	12,986	14.3	13,980	10.9	7,328	18.2
25年3月期第2四半期	494,335	14.7	11,362	356.5	12,607	226.8	6,197	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 12,230百万円(116.0%) 25年3月期第2四半期 5,663百万円(395.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	19	30	19	28
25年3月期第2四半期	16	32	16	32

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	502,445	—	244,803	—	46.1	—
25年3月期	528,535	—	234,352	—	41.9	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 231,385百万円 25年3月期 221,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
26年3月期	—	60.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。そのため、平成26年3月期における第2四半期末の配当金につきましては、株式分割前の数値で算定しておりますが、期末の配当予想につきましては、株式分割後の数値で算定しております。また、各期末配当金の内訳は以下のとおりです。

平成26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 15円00銭
平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円50銭 記念配当 1円50銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,087,000	4.0	30,000	14.0	31,500	12.5	15,500	20.2	40	83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行っておりますので、平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	388,558,100株	25年3月期	388,558,100株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	8,901,710株	25年3月期	8,900,990株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	379,656,731株	25年3月期2Q	379,657,333株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。四半期決算補足説明資料は当社ホームページ(<http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/>)に掲載しております。
- 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合をもって株式分割を行い、単元株式数を10株から100株に変更いたしました。なお、株式の分割前の数値で算定した平成26年3月期の通期連結業績予想及び期末配当予想は以下のとおりです。

- 1) 平成26年3月期の連結業績予想
- 1株当たり当期純利益
- 通 期 408円26銭
- 2) 平成26年3月期の配当予想
- 1株当たり配当金
- 期 末 60円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)における日本経済は、公共投資の増加など各種経済対策の効果を背景に、消費者及び企業のマインドの着実な改善が見られ、回復基調が鮮明になってきております。国内広告市場(注1)についても、4月から8月まですべての月で前年を上回るなど、景気回復を追い風に、着実に伸長しております。

このような環境下、当社グループは、中期基本戦略である「次世代型の統合マーケティング・ソリューションの実践を通じて、企業のマーケティング活動全体の最適化を実現する責任あるパートナーとなる」ことをベースに、「インターネット」「マーケティング/プロモーション」「グローバル」の3つの領域を重点戦略領域と定め、積極的な事業展開を継続してまいりました。この結果、売上高は5,053億50百万円(前年同期比2.2%の増加)と増収となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高を種目別に見ますと、4マスメディアでは、第1四半期、前年同期に好調だったテレビの反動減などにより前年同期を下回りましたが、第2四半期に入ってテレビスポットに強い伸びが見られ、その結果、4マスメディア取引合計は前年同期を0.6%と若干下回る結果となりました。また、4マスメディア以外は、第1四半期から堅調に推移したインターネットメディアに加え、第2四半期に入ってマーケティング/プロモーションに強い伸びが見られ、4マスメディア以外取引合計は前年同期を2.9%上回りました。

一方、売上高を得意先業種別に見ますと、「自動車・関連品」「金融・保険」「官公庁・団体」などは前年同期を上回りましたが、「家電・AV機器」「交通・レジャー」「食品」などは減少しております。(注2)

売上総利益に関しては、当社グループ全体での収益性向上のための様々な取り組みを継続した結果、前年同期より47億38百万円増加し、873億32百万円(同5.7%増加)となりました。販売費及び一般管理費は、連結範囲の拡大や戦略的な費用投下の推進等により前年同期比4.4%増加となりましたが、年間計画に沿った水準で、売上総利益の伸びを下回る運用を行いました。その結果、営業利益は129億86百万円(同14.3%増加)、経常利益は139億80百万円(同10.9%増加)と、いずれも増益となりました。

これに特別利益の15億26百万円(同587.8%増加)及び特別損失の4億50百万円(同21.8%減少)を加味した税金等調整前四半期純利益は150億56百万円(同22.9%増加)となり、税金等を控除した四半期純利益は73億28百万円(同18.2%増加)となりました。

(注1) 「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)によります。

(注2) 当社の社内管理上の区分と集計によります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産は、前連結会計年度末に比べ260億89百万円減少し、5,024億45百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の減少259億19百万円、投資有価証券の増加54億90百万円、繰延税金資産の減少45億38百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ365億40百万円減少し、2,576億42百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少213億45百万円、賞与引当金の減少54億56百万円、未払法人税等の減少50億11百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ104億50百万円増加し、2,448億3百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加58億9百万円、その他有価証券評価差額金の増加28億36百万円です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は983億98百万円となり、前年同期より168億96百万円の増加(前連結会計年度末より31億48百万円の減少)となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益(150億56百万円)の計上、売上債権の減少(279億92百万円)等があったものの、賞与引当金の減少(△55億42百万円)、たな卸資産の増加(△21億60百万円)、仕入債務の減少(△231億32百万円)、法人税等の支払(△77億32百万円)、その他営業活動キャッシュ・フローの減少(△67億98百万円)等の結果、34億6百万円の減少(前年同期は79億48百万円の減少)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出(△34億70百万円)、有価証券の取得による支出(△20億円)等があったものの、一方で定期預金の払戻による収入(53億81百万円)、有価証券の売却による収入(40億円)等により、21億50百万円の増加(前年同期は14億46百万円の減少)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出(△13億62百万円)、配当金の支払(△15億15百万円)等の結果、25億12百万円の減少(前年同期は13億17百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今回、上期の業績及び足もとの状況を踏まえ、通期の連結業績見通しにつきまして見直しを行いました。しかしながら、平成25年5月9日に公表しました通期業績見通しの考え方に変更はなく、現時点で見通しの修正は行いません。

なお、参考までに、平成25年5月9日に公表しました平成26年3月期の連結業績見通しは、以下の通りです。

(単位：百万円)

	上期			下期			通期			(参考) 5月9日発表の 上期見通し
	平成26年 3月期	前年同期比		平成26年 3月期	前年同期比		平成26年 3月期	前年同期比		
	実績	増減額	(%)	見通し	増減額	(%)	見通し	増減額	(%)	
売上高	505,350	11,014	2.2%	581,650	30,554	5.5%	1,087,000	41,568	4.0%	504,000
営業利益	12,986	1,624	14.3%	17,014	2,058	13.8%	30,000	3,680	14.0%	10,500
経常利益	13,980	1,373	10.9%	17,520	2,117	13.7%	31,500	3,489	12.5%	11,600
当期純利益	7,328	1,130	18.2%	8,172	1,475	22.0%	15,500	2,605	20.2%	5,700
(オペレーティング・マージン)	(14.9%)	(+1.1%)		(17.5%)	(+1.5%)		(16.2%)	(+1.3%)		(12.4%)

(オペレーティング・マージン) = 営業利益 / 売上総利益

下期見通しは、通期見通し - 上期実績

(注) 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

◎次期中期経営計画について

これまで当社グループは、平成22年3月期より平成26年3月期迄の5カ年の中期経営計画を着実に実行してまいりました。今期は、その最終年度となりますが、当初掲げました経営目標「営業利益280億円」「オペレーティング・マージン16%」「売上総利益1,750億円」につきましては、すべての項目において目標水準を上回る見通しです。また、現行の中期経営計画期間の5カ年は、事業構造の転換を実現するための移行期間と捉えておりますが、その進捗に関しても、これまで順調に推移してきております。

このたび、現行の中期経営計画の最終年度を迎えるにあたり、今後の当社グループの新たな成長ステージを見据え、平成27年3月期から平成31年3月期までの5カ年を計画期間とする新たな中期経営計画を策定いたしました。同計画においては、以下の経営目標を設定しております。

□ 中期経営目標(平成31年3月期)

のれん償却前営業利益 : 450億円

<重点指標>

売上総利益年平均成長率 : +7%以上

のれん償却前オペレーティング・マージン : 17%

ROE : 8%

※ のれん償却前営業利益とは、企業買収によって生じるのれんの償却額等を除外して算出される営業利益。

※ 売上総利益年平均成長率は、計画期間内の年平均成長率。

※ 上記目標は、平成26年3月期の通期連結業績見通しをベースに設定しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,915	106,796
受取手形及び売掛金	260,799	234,880
有価証券	5,033	2,561
金銭債権信託受益権	6,053	5,626
たな卸資産	6,380	8,642
短期貸付金	1,977	1,869
繰延税金資産	9,383	6,054
その他	12,338	13,646
貸倒引当金	△616	△521
流動資産合計	410,264	379,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,546	16,767
減価償却累計額	△8,916	△9,269
建物及び構築物 (純額)	7,630	7,497
土地	11,069	11,099
その他	8,147	8,397
減価償却累計額	△4,137	△4,285
その他 (純額)	4,009	4,112
有形固定資産合計	22,709	22,709
無形固定資産		
ソフトウェア	2,883	3,150
のれん	2,605	2,874
その他	107	145
無形固定資産合計	5,596	6,170
投資その他の資産		
投資有価証券	56,924	62,415
長期貸付金	580	536
前払年金費用	6,994	8,171
繰延税金資産	6,379	5,170
その他	21,714	20,394
貸倒引当金	△2,627	△2,678
投資その他の資産合計	89,965	94,009
固定資産合計	118,270	122,889
資産合計	528,535	502,445

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	234,644	213,298
短期借入金	2,411	3,086
1年内返済予定の長期借入金	169	102
未払費用	8,862	4,801
未払法人税等	8,392	3,380
資産除去債務	32	—
賞与引当金	14,033	8,576
役員賞与引当金	281	25
債務保証損失引当金	50	50
その他	12,966	11,341
流動負債合計	281,842	244,664
固定負債		
長期借入金	469	307
資産除去債務	9	9
退職給付引当金	7,724	7,683
役員退職慰労引当金	1,308	1,634
その他	2,828	3,343
固定負債合計	12,340	12,977
負債合計	294,182	257,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	88,894	88,894
利益剰余金	121,463	127,273
自己株式	△5,078	△5,079
株主資本合計	215,279	221,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,416	10,253
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△1,076	42
その他の包括利益累計額合計	6,339	10,296
新株予約権	242	255
少数株主持分	12,490	13,162
純資産合計	234,352	244,803
負債純資産合計	528,535	502,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	494,335	505,350
売上原価	411,741	418,017
売上総利益	82,594	87,332
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	30,811	32,005
退職給付費用	2,733	2,095
賞与引当金繰入額	6,902	7,448
役員退職慰労引当金繰入額	164	188
のれん償却額	354	493
貸倒引当金繰入額	△139	△58
その他	30,405	32,173
販売費及び一般管理費合計	71,232	74,345
営業利益	11,362	12,986
営業外収益		
受取利息	103	88
受取配当金	506	720
為替差益	8	—
持分法による投資利益	600	71
保険解約返戻金	12	130
その他	168	204
営業外収益合計	1,399	1,215
営業外費用		
支払利息	39	52
為替差損	—	118
投資事業組合運用損	52	22
訴訟関連費用	18	—
その他	44	28
営業外費用合計	154	222
経常利益	12,607	13,980

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	14	0
投資有価証券売却益	132	73
関係会社株式売却益	43	1,404
持分変動利益	0	33
段階取得に係る差益	—	6
負ののれん発生益	24	0
その他	7	8
特別利益合計	221	1,526
特別損失		
固定資産売却損	14	0
固定資産除却損	14	49
減損損失	24	9
投資有価証券売却損	4	2
投資有価証券評価損	355	166
ゴルフ会員権評価損	68	9
持分変動損失	1	2
事務所移転費用	54	9
特別退職金	8	10
和解金	1	—
損害賠償金	—	124
関係会社清算損	—	27
のれん償却額	—	18
その他	27	19
特別損失合計	576	450
税金等調整前四半期純利益	12,252	15,056
法人税、住民税及び事業税	2,755	3,055
法人税等調整額	2,721	3,822
法人税等合計	5,476	6,877
少数株主損益調整前四半期純利益	6,776	8,178
少数株主利益	578	849
四半期純利益	6,197	7,328

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,776	8,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,136	2,832
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	28	1,037
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	181
その他の包括利益合計	△1,112	4,052
四半期包括利益	5,663	12,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,166	11,300
少数株主に係る四半期包括利益	496	929

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,252	15,056
減価償却費	1,266	1,321
減損損失	24	9
のれん償却額	354	511
負ののれん発生益	△24	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,959	△5,542
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△198	△255
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△502	△151
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44	△2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△248	△60
受取利息及び受取配当金	△609	△809
支払利息	39	52
為替差損益 (△は益)	13	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△600	△71
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△6
持分変動損益 (△は益)	1	△30
投資有価証券売却損益 (△は益)	△128	△71
関係会社株式売却損益 (△は益)	△43	△1,404
投資有価証券評価損益 (△は益)	355	166
固定資産売却損益 (△は益)	0	△0
固定資産除却損	14	49
売上債権の増減額 (△は増加)	33,087	27,992
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,409	△2,160
仕入債務の増減額 (△は減少)	△36,914	△23,132
前払年金費用の増減額 (△は増加)	784	△1,176
その他	△3,746	△6,798
小計	△2,235	3,484
利息及び配当金の受取額	761	895
利息の支払額	△33	△53
法人税等の支払額	△6,441	△7,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,948	△3,406

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,535	△3,470
定期預金の払戻による収入	4,155	5,381
有価証券の取得による支出	△1,000	△2,000
有価証券の売却による収入	1,000	4,000
有形固定資産の取得による支出	△1,074	△515
有形固定資産の売却による収入	29	2
無形固定資産の取得による支出	△717	△1,172
投資有価証券の取得による支出	△1,336	△1,925
投資有価証券の売却による収入	683	2,016
出資金の払込による支出	△61	—
出資金の回収による収入	0	21
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△682
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	9
敷金の差入による支出	△181	△315
敷金の回収による収入	438	643
短期貸付金の増減額 (△は増加)	77	82
長期貸付けによる支出	△6	△29
長期貸付金の回収による収入	20	14
金銭債権信託受益権の増減額 (△は増加)	1,078	450
その他	△15	△361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,446	2,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3	645
長期借入れによる収入	531	75
長期借入金の返済による支出	△125	△1,362
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△52	△64
自己株式の取得による支出	△0	△0
子会社の自己株式の取得による支出	—	△1
子会社の自己株式の処分による収入	1	—
配当金の支払額	△1,327	△1,515
少数株主への配当金の支払額	△391	△433
少数株主からの払込みによる収入	50	23
ストックオプションの行使による収入	—	121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,317	△2,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	776
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,702	△2,990
現金及び現金同等物の期首残高	92,193	101,546
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△157
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,501	98,398

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の連結子会社は、新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、デジタルメディア等各種媒体における広告業務の取扱い、及び広告表現に関する企画、制作並びにマーケティング、PR等のサービスの提供を主たる業務としており、事業を集約し単一セグメントとしているため記載を省略しております。

<参考情報>

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)における地域別の業績及び海外売上高の状況は、以下のとおりです。

i. 地域別の業績

(単位:百万円)

	日本	海外	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	477,481	16,854	494,335	—	494,335
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,044	2,723	3,767	(3,767)	—
計	478,525	19,578	498,103	(3,767)	494,335
営業費用	465,447	19,210	484,657	(1,683)	482,973
営業利益	13,078	368	13,446	(2,084)	11,362

ii. 海外売上高

(1) 海外売上高(百万円)	19,359
(2) 連結売上高(百万円)	494,335
(3) 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	3.9

(注) 「海外」に区分される主な国又は地域

アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス、ロシア、中国、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インド、オーストラリア

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)における地域別の業績及び海外売上高の状況は、以下のとおりです。

i. 地域別の業績

(単位:百万円)

	日本	海外	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	487,585	17,764	505,350	—	505,350
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,216	1,898	3,115	(3,115)	—
計	488,802	19,663	508,465	(3,115)	505,350
営業費用	473,578	19,512	493,091	(728)	492,363
営業利益	15,223	150	15,373	(2,386)	12,986

ii. 海外売上高

(1) 海外売上高(百万円)	20,269
(2) 連結売上高(百万円)	505,350
(3) 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.0

(注) 「海外」に区分される主な国又は地域

アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス、ロシア、中国、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インド、オーストラリア

(重要な後発事象)

該当事項はありません。